



朽木中だより

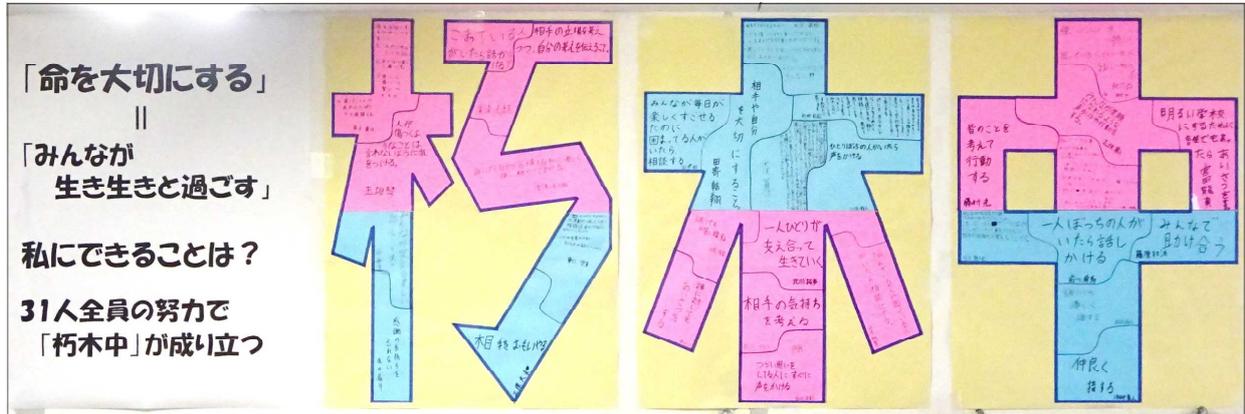


令和2年度学校だより 第6号 令和2年8月28日 高島市立朽木中学校 (文責 澤 悦弘)

命を大切にし

みんなが生き生きと過ごすために！

暑さ厳しい日が続く中、8月17日(月)に2学期がスタートし、約2週間が経ちましたが、生徒たちは学習や部活動に頑張っています。例年よりも長い2学期になりますが、少人数での集団でそれぞれが仲間を大切にしながら、実りのある学期になることを願っています。



31人 全員で完成

『朽木中』

上の写真は、6月末に行った「命について考える集会」で生徒それぞれが「みんなが生き生きと過ごすために、私にできること」として書いたものをつなぎ合わせて作ったものです。「ひとりぼっちの人がいたら声をかける」「誰に対してもあいさつをする」「みんなが笑える楽しい話をする」「みんなのことを考えて行動する」「誰にでもやさしく接する」「人が傷つくようなことは言わない」「困ったことがあれば誰にでも相談する」などの言葉がありました。31人みんなで作った「朽木中」には、一部の人だけが頑張ってもダメ、自分一人ぐらいどうでもいいやと思ってもダメ、31人みんながつながり、お互いのことを考えながら、みんなが生き生きと過ごし、そんな思いを込めています。

学年を超えて

縦割りグループで掃除

全校生徒が少なく、学年が進んでも同じメンバーでのクラスで生活します。できるだけたく



さんの人たちと関わってコミュニケーション能力も身につけてほしいとの思いで、学年を超えた集団での活動を設定しています。部活動や生徒会活動はもちろんですが、総合的な学習の時間を他学年の生徒と取り組んだり、写真のように縦割りのグループで割り当てられた場所の掃除を行ったりしています。上級生が各グループでのリーダーとなり、全員が協力しながらしっかりと取り組んでいます。

お世話になりました

PTA環境整備作業

8月23日(日)、とても暑い日でしたが、保護者の皆さまには校舎周辺の草刈りや、窓ガラスの掃除など



を行っていただきました。生徒も登校し、体育館の窓ガラスや、校舎内の蛍光灯の掃除などに一生懸命でした。また、この整備作業に先立ち、



2学期初日を生徒が気持ちよく登校できるようにと、学校運営協議会委員の越智さん(野尻在住)が一人で学校にお越しいただき、生徒昇降口周辺の草刈りをしてくださいました。定期的に除草作業をしてくださる日赤奉仕団の方や老人会の方など、多くの方に支えていただきながら教育活動に取り組んでいることを実感しています。ありがとうございます。

ふくだぐみさん提供 写真ニュース

宝牧場さん提供 中学生新聞

昨年度から宝牧場さんより「朝日中学生新聞」を提供いただいておりますが、今年度、新たにふくだぐみさんより「朝日写真ニュース」を提供いただくこととなりました。中学生が社会の動きに関心を持てるよう、両方とも生徒昇降口に置き、気軽に見られるようにします。



夏休み中

生徒が注目したニュース

今年の夏休みは例年よりも短く、お盆と重なったこともあって、各教科からの宿題は出しませんでした。でも、社会の動きに目を向けられるようにと、「ライフ夏休み版」を配付し、そこには1日の生活記録を残すと共に、「本日の注目のニュース」という欄を設けました。生徒が提出した記録を見ていると、ほとんどの生徒が「感染症」と「熱中症」のニュースに注目していました。その中で、8月6日と8月9日の欄には、多くの生徒が「広島への原爆投下」「長崎への原爆投下」について触れていました。「今日は広島に原爆が投下された日、もう二度とあんなことにならないでほしいと思う」「すごく昔のことみたいな印象があったから、まだ75年しか経っていないことにびっくりした。テレビなどでも特集がされていて戦争は怖いと思った」という感想もありました。生徒のみなさんは小学生の時に広島を訪れ、平和について学習しています。その様子を思い出した人も多いでしょう。被爆を体験した人が「あのときの政治は間違っていた」とテレビでのインタビューに答えられていた様子が、私には忘れられません。

合笑祭

～みんな笑顔でお楽しみくだ^{さい}祭～

今年の文化祭・体育祭(9月26日に開催予定)の名称として、生徒が考えたものです。今年、生徒会執



行部の人たちに「文化祭・体育祭に関する校長からのミッション」として『みんなが楽しむ』『協力して自分たちで創る』内容を企画してほしい」とお願いしました。執行部の生徒たちは早速、そのことを内容面に反映できるよう、考えています。今後の取組が楽しみです。